
ALAXALA AX2500S

ハードウェア取扱説明書

訂正資料

AX25S-H001-K0 以降対応版

■はじめに

このマニュアルは、以下に示す AX2500S ハードウェア取扱説明書の訂正内容について説明するものです。

本装置をご使用になる時は、この資料を必ずお読みください。

このマニュアルの対象となるマニュアル一覧を以下に示します。

マニュアル名	マニュアル番号	発行
ALAXALA AX2500S ハードウェア取扱説明書	AX25S-H001-K0	2021年10月

■対象製品

本マニュアルは AX2500S シリーズの以下 19 モデルの内容について記載しています。

- ・ AX2530S-24T, AX2530S-24T4X, AX2530S-48T, AX2530S-48T2X, AX2530S-48P2X, AX2530S-24S4X, AX2530S-24TD, AX2530S-48TD, AX2530S-24S4XD, AX2530S-08P, AX2530S-08PD1, AX2530S-08PD2, AX2530S-08TC1, AX2530S-16P4X
- ・ AX2530SE-24T, AX2530SE-24T4X, AX2530SE-48T, AX2530SE-48T2X, AX2530SE-24S4X

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

- ・ Ethernet は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- ・ イーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

■マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

本マニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ご注意

本マニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■お知らせ

本マニュアルに準じないで本製品を運用した結果については責任を負いません。

あらかじめご了承ください。

■発行

2022年 5月 (第2版)

■ 著作権

All Rights Reserved, Copyright (C), 2022, ALAXALA Networks Corp.

目次

安全にお取り扱いいただくために	5
通知.....	6
1 機器の概要	7
1.6 トランシーバ.....	8
1.6.2 SFP+.....	8
2 設置の準備	10
2.2 設置条件.....	11
2.2.1 一般設備条件.....	11
2.3 電源設備.....	13
2.3.1 AC100V 電源設備.....	13
3 インタフェースケーブルおよび端末の準備	14
3.1 インタフェースケーブル, 端末の接続.....	15
4 機器の設置, 増設, 交換および撤去	16
4.10 SFP および SFP+の取り付けと取り外し.....	17
4.10.1 SFP-T の取り付けと取り外し.....	17
4.10.2 SFP (SFP-T を除く), SFP+の取り付けと取り外し.....	17
付録	18
付録.B ネットワークインタフェースの物理仕様.....	19
付録.B.4 イーサネット 10GBASE-R インタフェース.....	19

安全にお取り扱いいただくために

通知

追加

ダイレクトアタッチケーブル、トランシーバに関する通知

- **ダイレクトアタッチケーブルのプルタブを無理に引っ張らないようにしてください。**
 - **ダイレクトアタッチケーブルを取り外す場合、ダイレクトアタッチケーブルのバックシェル部を装置方向に水平に指で押し込んでいる状態で、ゆっくり力を加えながらプルタブを引っ張ってください。無理にプルタブを引っ張ると、プルタブが切れてダイレクトアタッチケーブルの故障の原因となります。**

- **SFP および SFP+のレバーを無理に引っ張らないようにしてください。**
 - **SFP および SFP+の取り外しがしにくい場合は、レバーを下ろした状態で、トランシーバの本体を装置の方向に指で押し込み、トランシーバを取り外すことができないか確認してください。無理にレバーを引っ張ると、トランシーバ故障の原因となります。**

- **トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。**
 - **トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。トランシーバの取り付けおよび取り外しを過度に行うと、耐用年数が短くなる場合があります。**

1 機器の概要

1.6 トランシーバ

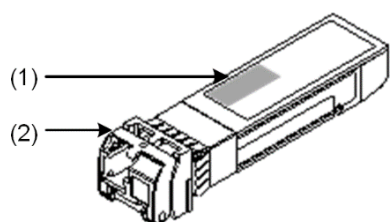
1.6.2 SFP+

追加

SFPP-BR1U, SFPP-BR1D, SFPP-BR4U, SFPP-BR4D 追加 [Ver.4.23 以降]

(4) SFPP-BR1U

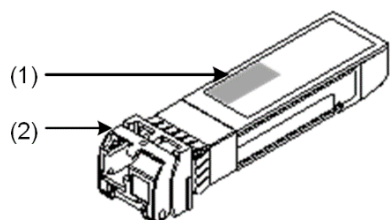
図1-81a 外観



- (1) ラベルの表示 : AlaxalA SFPP-BR1U
- (2) レバーの色 : 黒

(5) SFPP-BR1D

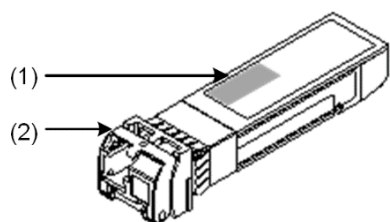
図1-81b 外観



- (1) ラベルの表示 : AlaxalA SFPP-BR1D
- (2) レバーの色 : 青

(6) SFPP-BR4U

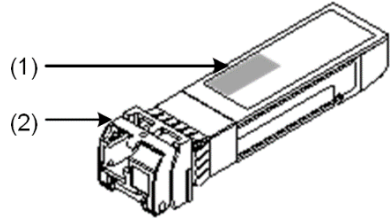
図1-81c 外観



- (1) ラベルの表示 : AlaxalA SFPP-BR4U
- (2) レバーの色 : 黒

(7) SFPP-BR4D

図1-81d 外観



- (1) ラベルの表示 : AlaxalA SFPP-BR4D
- (2) レバーの色 : 青

2 設置の準備

2.2 設置条件

2.2.1 一般設備条件

変更

表 2-1 AX2500S シリーズ装置本体の一般設備条件 (AC 電源モデル)

表 2-2 AX2500S シリーズ装置本体の一般設備条件 (AC 電源(PoE)モデル)

表 2-1 AX2500S シリーズ装置本体の一般設備条件 (AC 電源モデル)

項目	モデル名称				
	24T	24T4X	48T	48T2X	24S4X
寸法 (W×D×H) *1	445×230×43mm	445×300×43mm			
質量 *2	3.0kg	3.9kg	4.2kg	4.2kg	3.9kg
入力電圧	定格	単相 AC100～120V, 200～240V±10%*3			
	変動範囲	AC90～127.2V, 180～254.4V AC90～132V, 180～264V			
周波数	50/60±3Hz				
最大入力電流	0.7A@AC100V		1.0A@AC100V		
	0.4A@AC200V		0.5A@AC200V		
最大消費電力	40W	57W	80W	85W	75W
最大発熱量	144kJ/h	205kJ/h	288kJ/h	306kJ/h	270kJ/h

*1 コネクタ類の寸法は含みません。

*2 本体のみの質量です。ケーブル類, ラック取り付け金具, メモリカード, トランシーバの質量は含みません。

*3 本装置付属の電源ケーブルは, AC100V だけ対応しています。

表 2-1 AX2500S シリーズ装置本体の一般設備条件 (AC 電源モデル)

項目	モデル名称		
	48P2X	08P	16P4X
寸法 (W×D×H) *1	445×400×43mm	210×250×43mm	210×297×43mm
質量 *2	6.0kg	2.0kg	2.4kg
入力電圧	定格	単相 AC100～120V, 200～240V±10%*3	
	変動範囲	AC90～127.2V, 180～254.4V AC90～132V, 180～264V	
周波数	50/60±3Hz		
最大入力電流	6.0A@AC100V	3.3A@AC100V	5.4A@AC100V
	3.0A@AC200V	1.8A@AC200V	2.9A@AC200V
最大消費電力	600W	324W	365W
PoE 最大給電能力	425W	240W 120W *4	250W *6
最大発熱量	2160kJ/h	302kJ/h *5	427kJ/h *5

*1 コネクタ類の寸法は含みません。

*2 本体のみの質量です。ケーブル類, ラック取り付け金具, メモリカード, トランシーバの質量は含みません。

- *3 本装置付属の電源ケーブルは、AC100V だけ対応しています。
- *4 動作温度 50°C以上の場合の PoE 最大供給電力です。また、受電装置の電力クラスが Class 4 (30.0W) の場合は、動作温度 50°C以上での給電可能なポート数は最大 4 ポートになります。
- *5 本装置のみの発熱量です。PD (受電装置) の発熱量は含みません。
- *6 受電装置の電力クラスが Class4 (30.0W) の場合は、給電可能なポート数は最大 8 ポートになります。

2.3 電源設備

変更

表 2-12 突入電流

2.3.1 AC100V 電源設備

(2) 分電盤

表 2-12 突入電流

モデル	電流 (ピーク値)	時間
AC 電源モデル	24T	22A
	24T4X	20A
	48T	
	48T2X	
	24S4X	
AC 電源 (PoE) モデル	48P2X	40A
	08P	18.6A
	16P4X	29A
予備電源機構	EPU-A	30A

3 インタフェースケーブルおよび端末の 準備

3.1 インタフェースケーブル， 端末の接続

変更

表 3-1 インタフェースケーブル， 端末接続ケーブル [Ver.4.23 以降]

表 3-1 インタフェースケーブル， 端末接続ケーブル

ポート/スロット	トランシーバ	インタフェース	ケーブル	コネクタ	
(略)					
SFP+スロット	SFPP-SR	10GBASE-SR	マルチモード光ファイバケーブル (コア/クラッド径=50 / 125 μ m)	LC2 芯 コネクタ	
			マルチモード光ファイバケーブル (コア/クラッド径=62.5 / 125 μ m)		
	SFPP-LR	10GBASE-LR	シングルモード光ファイバケーブル (コア/クラッド径=10 / 125 μ m)		
	SFPP-ER	10GBASE-ER			
	SFPP-BR1U	10GBASE-BR10-U			
	SFPP-BR1D	10GBASE-BR10-D			
	SFPP-BR4U	10GBASE-BR40-U			
	SFPP-BR4D	10GBASE-BR40-D			
	SFPP-CU30C	—	—		
	SFPP-CU1M	—	—		
	SPFF-CU3M	—	—		
	SFPP-CU5M	—	—		
	(略)				

4 機器の設置, 増設, 交換および撤去

4.10 SFP および SFP+の取り付けと取り外し

追加

トランシーバの取り付け・取り外しに関する通知

SFP, SFP+の取り外しがしにくい場合の通知

SFP および SFP+は、装置の電源を入れたままで取り付け、取り外しを行うことができます。

通知

トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。トランシーバの取り付けおよび取り外しを過度に行うと、耐用年数が短くなる場合があります。

4.10.1 SFP-T の取り付けと取り外し

(2) 取り外し方

⚠注意

SFP-T 動作中（リンク確立中）の温度は、最高 65°Cになります。動作中および動作停止直後は手を触れないでください。やけどの原因となります。

なお、SFP-T を取り外す場合は以下の手順に従ってください。以下の手順に従わないと、やけどの原因となります。

- 装置の電源を入れたままで取り外す場合は、SFP スロット、SFP+スロットを shutdown コマンドにて閉塞した後、トランシーバの表面温度が十分に冷めたことを確認してから取り外してください。
- 装置の電源を切断して取り外す場合は、電源を切断した後、トランシーバの表面温度が十分に冷めたことを確認してから取り外してください。

通知

SFP および SFP+の取り外しがしにくい場合は、レバーを下ろした状態で、トランシーバの本体を装置の方向に指で押し込み、トランシーバを取り外すことができないか確認してください。無理にレバーを引っ張ると、トランシーバ故障の原因となります。

4.10.2 SFP (SFP-T を除く), SFP+の取り付けと取り外し

(2) 取り外し方

通知

SFP および SFP+の取り外しがしにくい場合は、レバーを下ろした状態で、トランシーバの本体を装置の方向に指で押し込み、トランシーバを取り外すことができないか確認してください。無理にレバーを引っ張ると、トランシーバ故障の原因となります。

NOTE

SFP+の場合も同様の手順で行ってください。

付録

付録.B ネットワークインタフェースの物理仕様

付録.B.4 イーサネット 10GBASE-R インタフェース

追加

表 B-14 10GBASE-BR 物理仕様 [Ver.4.23 以降]

表 B-14 10GBASE-BR 物理仕様

項目	物理仕様			
	10GBASE-BR10-U *1	10GBASE-BR10-D *1	10GBASE-BR40-U *2	10GBASE-BR40-D *2
インタフェース				
ケーブル種	シングルモード			
コア/クラッド径	10 / 125 μ m			
発光中心波長	1.260~1.280 μ m	1.320~1.340 μ m	1.260~1.280 μ m	1.320~1.340 μ m
受信波長	1.320~1.340 μ m	1.260~1.280 μ m	1.320~1.340 μ m	1.260~1.280 μ m
光送信電力(平均値)	-8.2*3~+0.5dBm		+0*3~+5.0dBm	
光受信電力(平均値)	-14.4*3~+0.5dBm		-21.2*3~-9.0dBm	
光伝送損失	max 6.2dB*3		max 21.2dB*3*4	
伝送距離	2m~10km		2m~40km	

*1 10GBASE-BR10-U と 10GBASE-BR10-D を対にして使用します。

*2 10GBASE-BR40-U と 10GBASE-BR40-D を対にして使用します。

*3 参考値

*4 光伝送損失が 14dB 以下の場合は、アッテネータを使用して損失を調整してください。